

地方創生・防災委員会 基本方針（案）

地方創生・防災委員会 室長 岡田 直樹

地方創生・防災委員会 委員長 米本 真太郎

1 毎年大規模災害が様々な地域で多発し、その脅威に対して市民の皆様の防災意識が段々と高ま
2 っております。活動エリア内においても、今後40年以内に90%程度の確率で南海トラフ大地
3 震が発生すると予想されております。また私たちの地域では人口流出が止まらず、10年間で約
4 11パーセントの人口減少しており鳴門市板野郡の素晴らしい歴史とこれから創られる新たな魅
5 力が災害や人口流出問題によって失われていく現状があります。

6 まずは、J C I 鳴門板野メンバーが防災知識を向上させ大切な家族や周りの方のために、自覚
7 や責任をもち、災害時に地域のリーダーとして積極的に行動を起こす必要があります。その上で
8 個人の自覚に根差した[自助]互いに助け合う[共助]行政による[公助]の繋がりを地域へ広げてい
9 く防災フェスを企画します。また、防災フェスについては、大災害発生時に迅速な対応ができる
10 ように災害時の専門集団との協力体制の構築を推進していきます。さらに私たちが得た知識が防
11 災フェスを通して地域の皆様に共有されることで、防災の輪が大きくなり、それが減災に繋がっ
12 ていくと考えます。また私たちが活動する鳴門市板野郡には、豊かな自然に育まれる産物や産業
13 など多くの魅力があります。そして、これらは先人が受け継ぎ今日を迎えることができている
14 が、人口減少や過疎化が進み継承が危うくなってきています。これらの魅力を現代から後世へ引
15 き継いでいく為にはこの課題解決に取り組む必要があります。街の現状を理解し鳴門市板野郡の
16 魅力とは何かを改めて調査を行い、J C I 鳴門板野独自の発信力を用い行きたい住みたい街を目
17 指します。

18 危機に直面している災害時課題そして地域課題を私達が学び、周りに伝播することにより、小
19 さな波紋から大きなうねりに変え、住み続けられるまちづくりを体現し、人口減少に歯止めをか
20 け、必然的にJ C I 鳴門板野の存在意義をさらに向上させることとなります。

21
22 SDGs 8・11・13

23 事業計画

24 1. 5月・11月地方創生の一端を担う例会事業の企画・設営

25 2. 9月防災フェスタの企画・設営.